



平成22年のフィフティ・フィフティ実施効果 ～節減は両者に恩恵～

市では、平成18年4月から環境教育の一環として市内の全小・中学校でフィフティ・フィフティシステムを実施し、平成21年4月からは、節減の成果をよりわかりやすく表すため、効果算定方法を使用電気料金から使用電力量に変更し継続実施している。平成22年（1月～12月）のフィフティ・フィフティシステムによる取組み結果は次のとおりである。

1. フィフティ・フィフティシステムの内容・目的

光熱水費(電気代)の節減分の1/2を学校へ還元し、残りの1/2を市へ返還するシステム。これは、児童、生徒が環境に関する幅広い理解をし、環境を守り育てることのできる資質や能力を養うとともに、学校における環境教育・環境保全の取組みを推進することを目的とするものである。

2. 平成22年（1月～12月）の実施効果と還元

原則、各学校の平成17年の使用電力量（比較基準年電力量）と平成22年の使用電力量を比較し、節減電力量を算出する。

効果のあった学校：小学校26校/30校、中学校8校/10校

	電力量 節減量	電気料金 節減額	学校への還元額 (節減額の1/2)	市への返還額 (節減額の1/2)
小学校	315,186kwh	4,696,015円	2,348,008円	2,348,007円
中学校	98,117kwh	2,037,973円	1,018,987円	1,018,986円
計	413,303kwh	6,733,988円	3,366,995円	3,366,993円

※H22年の1カ月当たりの電力節減量は34,442kwh

【参考】平成18年～平成21年の実施効果

	H18.4月～12月		H19.1月～12月	
	電力量節減量	電気料金節減額	電力量節減量	電気料金節減額
小学校	91,427kwh	1,904,710円	140,157kwh	3,291,567円
中学校	26,786kwh	526,624円	56,530kwh	937,881円
計	118,213kwh	2,431,334円	196,687kwh	4,229,448円
	H20.1月～12月		H21.4月～12月	
	電力量節減量	電気料金節減額	電力量節減量	電気料金節減額
小学校	206,716kwh	3,116,420円	223,351kwh	3,961,143円
中学校	74,559kwh	977,076円	102,511kwh	2,246,949円
計	281,275kwh	4,093,496円	325,862kwh	6,208,092円

※効果算定方法再検討のため、H21.1～3月はデータをとっていない。

H21.4～12月の1カ月当たりの電力節減量は36,207kwh

3. 学校への還元方法

- ・各学校で希望の物品を購入

※希望物品例

- ・図書 ・紙芝居 ・なわとび ・一輪車 ・各種ボール ・楽器
- ・体育用具 ・理科実験用品 ・園芸用品(花苗ほか) ・清掃用具



4. 主な取組み例

- ①ポスターやグラフの掲示
- ②集会等での節電の呼びかけ
- ③不要な電気をこまめに消す
- ④エアコンの設定温度を決めておく
- ⑤使用していない電気プラグは抜く

5. 今後の取組み

平成23年以降も継続し、経費節減と学校における環境教育の推進を図る。

《参考》

この考え方を平成22年11月に策定した「コストを意識した行動指針」にも採用した。(具体的には今後検討)

[問合せ] 豊岡市教育委員会教育総務課 Tel.0796-23-1117